

【事業内容】平成21年4月に開業した「門司港レトロ観光列車」の運行を契機に、鉄道にバスや旅客船を加えた周遊切符の発売や、和布刈地区へのレンタサイクルターミナルの設置、沿線に残された旧貨物線のレールを活用した鉄道車両イベントの開催などに取り組み、公共交通を最大限活かした観光振興を図るとともに、地域公共交通の活性化を目指すもの。

北九州市、平成筑豊鉄道株式会社、西鉄バス北九州株式会社、サンデン交通株式会社、関門汽船株式会社、(社)北九州市観光協会、門司港レトロ倶楽部、下関市、NPO法人タウンモバイルネットワーク北九州、九州運輸局(オブザーバー)

事業の概要(22年度)

①関門海峡  
周遊切符  
の企画、発売



②トロッコ・バス  
連携切符  
の企画、販売



③公共交通  
利用促進  
キャンペーン実施



④和布刈(めかり)公園

- ・めかり絶景バスの運行
- ・レンタサイクルターミナルの設置
- ・めかり総合案内所の設置
- ・賑わいイベントの開催など

## 22年度 導入への プロセス

自治体、地域の交通事業者に加え、地元まちづくり団体や地元観光協会などの住民代表を含む協議会において、事業計画や実施状況について報告・審議した。

アンケートやヒアリング調査で利用者の意見調査などを行った。

関門海峡周遊切符やトロッコ・バス連携切符の製作枚数を過去の実績に基づき見直すなど、初年度の実施において課題として挙げられた点について改善を行った。

事業実施の2年目である22年度は、関係者の連携も円滑で、順調に事業が実施できた。

## 22年度 事業の 効果

### マイレール意識の高揚

門司港レトロ観光列車の終着駅となる関門海峡めかり駅周辺の魅力を高めるため、観光列車が走らない部分のレールを活用し、手こぎトロッコなどで遊べる「レールパーク」を開催。

下関市、門司港駅前に関門地域周遊のPRリーフレット配布等を実施

### 利便性の向上

門司港レトロ観光列車の運行開始とともに、鉄道にバスや旅客船を加えた関門周遊切符を発売し、公共交通を活用した広域観光ルートの形成を図る。

関門地域を訪れる観光客の回遊性を高め、また、自転車と公共交通機関が連携し、円滑な乗り継ぎ環境を整えるため、和布刈公園内にレンタサイクルターミナルを設置し、利便性の向上と公共交通の活性化につなげる。

関門海峡めかり駅周辺に総合案内所を設置し、観光客に公共交通機関の乗り継ぎ方法や時刻の案内を行い、円滑な乗り継ぎ環境の構築を図る。

### 観光利用の促進

観光列車に乗って和布刈公園を訪れる観光客に、瀬戸内海国立公園である和布刈公園を回遊し、楽しんでもらうために、関門海峡を一望できる「めかり第2展望台」や、和布刈神社などの源平史跡を巡る観光ガイド付「めかり絶景バス」を運行する。

門司港レトロ観光列車の運行により、和布刈公園を訪れる観光客の増加が見込まれる。そこで、瀬戸内海国立公園である和布刈公園の山頂付近から眺める「関門海峡の絶景」を楽しんでもらうため「めかり絶景バス」を運行することで、和布刈公園内で2つの公共交通機関が乗り継げる環境が整うため、門司港レトロ観光列車と和布刈絶景バスの共通切符を発売し、利便性の向上とレトロ地区と和布刈地区の回遊性を高めるもの。

## 次年度 以降

門司港レトロ観光列車の運行、鉄道にバスや旅客船を加えた周遊切符発売など、観光客向けのルートとして定着しつつある。周囲の観光事業者との連携なども広がりを見せている。今後も引き続き利用促進を図っていく。

関門海峡周遊切符・トロッコ・バス連携切符は、前年並みの好調な販売実績を維持できた。今後も観光列車乗客への案内に工夫を凝らすなど、列車のみで終わる観光客をその他の交通機関の利用までに広げる手段として有効活用し、さらなる普及に取り組んでいく。

・公共交通利用促進キャンペーンは、関係団体の施設での掲出やイベントの活用など、効率的で効果的な宣伝の推進を検討する。

・めかり絶景バスは比較的良好であった。今後も、利用客数確保を図る。

・めかり総合案内所は、周囲の観光情報の提供など、観光客向けの拠点となっている。補助事業期間終了後の自主運営に向け、財政面での合理化へ向けた検討を行う。